

## 第2章 電気設備

### 第1節 適 用

2.1.1 適 用 | 本章は、建築物等の電気施設に関する定期点検、臨時点検及び保守に適用する。

### 第2節 通信・情報設備

2.2.1 構内交換設備 | (a) 構内交換設備の点検項目及び点検内容は、表 2.2.1 による。

表 2.2.1 構内交換設備

(1/2)

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
1. 外観	① 装置架及び各部の緩みの有無を点検する。	6M	
	② 装置架及び各部の汚損、損傷、腐食等の有無を点検する。	6M	
	③ 固定金具の劣化、固定ボルト等の緩みの有無を点検する。	6M	
	④ エアフィルターの汚れ、目詰まり等の有無を点検する。	6M	
	⑤ 各部品、プリント基板、配線等の汚損、損傷、過熱、変色等の有無を点検する。	6M	
2. 機能 a. 中央処理系	① 系が二重化されている機種の場合には、系の手動切換スイッチ又はコマンドによりCPUのACT→SBY及びSBY→ACTと切り替わることを確認する。	6M	
	② 障害表示試験は、システムの稼動に影響しない範囲の擬似障害（ファンアラーム、試験電話機のロックアウト等）を発生させ、警報表示及び障害情報を確認する。	6M	
	③ メモリー及びハード時計のメモリアップ電池の出力テストポイントを有する場合には、出力が正常であることを確認する。	6M	
b. 通話路系	① 可聴信号試験は、電話機より各種機能接続を行い、各種可聴信号を確認する。		
	② 局線表示盤試験は、運用中のランプ点灯状態を確認する。	6M	
	③ 局線トランク試験は、次により行う。 ・全局線（専用線を含む）の発信接続を行い、誤接続の有無及び通話品質を確認する。	6M 6M	
	・全局線（専用線を含む）の着信接続を行い、応答を確認する。		
	④ ページング試験は、内線電話機より特番をダイヤルし、ページングトランクの捕捉、呼出音声の状態を確認する。		
	⑤ 会議通話試験は、内線電話機より特番をダイヤルし、会議トランクの捕捉、機能確認及び通話品質を確認する。	6M	
	⑥ 各種音声ガイダンスの通話品質を確認する。	6M	
	⑦ 押しボタン電話機等により発信し、誤接続の有無を確認する。	6M	
⑧ ファンの入力電圧、センサー動作、回転状態が正常であることを確認する。	6M		

点検項目	点検内容	周期	備考
3. 電源装置	① 電源部（整流装置）の充電状態を点検する。	6M	
	② 蓄電池の損傷、漏液、汚損等の有無を点検する。また、バッテリーの電圧、液量の確認及び比重点検を行う。	6M	
	③ 交換機内部電源にテストポイントを有する場合は、電圧を確認する。	6M	
4. 付属機器等	① MDF等の各端子の取付け状態を点検する。	6M	
	② 内線電話機の試験は試験内線より発信接続を行い、誤接続の有無及び通話品質の確認を行う。また、試験内線への着信接続を行い着信音、鳴動及び応答確認を行う。	6M	
	③ 多機能電話機の試験は下記により行う。 ・試験多機能電話機より発信接続を行い、誤接続の有無及び通話品質の確認を行う。また、試験多機能内線への着信接続を行い、着信音、鳴動及び対応確認を行う。 ・試験多機能電話機でファンクションキー、ダイヤルキーの操作状態及び各機能の試験を行い、機能を確認すると共に表示の確認を行う。	6M	
5. 運転環境	保護コンソールで障害ロギングを出力・分析する。	6M	
6. 設置環境	① 交換機室の温度、湿度等が規定の範囲内であることを確認する。	1Y	
	② 異常音及び異臭の有無を点検する。	1Y	

## 2.2.2 拡声設備

- (a) 拡声設備の点検項目及び点検内容は、表2.2.2による。  
(b) 消防法による非常用放送装置となる場合は、当該関係法令等により行う。

表2.2.2 拡声設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 増幅器、操作装置及び遠隔操作器	① 据付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。	1Y	
	② 表示装置、ランプ等をテストボタンにより点検する。	1Y	
2. 配線、付属機器等	① マイクロホンの損傷及びコードの接続状態を点検する。	1Y	
	② スピーカの据付け状態、汚れ及び損傷の有無を点検する。	1Y	
3. 性能試験	音量、明瞭度等の確認を行う。	1Y	

### 第3節 外 灯

- 2.3.1 外 灯
- (a) 本項は、脚立等で作業ができる範囲に設置されているものに適用する。
  - (b) 外灯の点検項目及び点検内容は、表2.3.1による。

表2.3.1 外 灯

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
支持柱	① ポール内蔵の配線用遮断器等及び配線の接続の良否を点検する。	1Y	
	② 沈下、傾斜、倒壊の危険等の有無を点検する。	1Y	
	③ 変形、破損及び腐食の有無を点検する。	1Y	
	④ アンカーボルトの緩み、腐食等の有無及びアンカーボルト周囲のシーリング材の剥離、欠落等の有無を点検する。	1Y	

### 第4節 避 雷 設 備

- 2.4.1 避 雷 設 備 | 避雷設備の点検項目及び点検内容は、表2.4.1による。

表2.4.1 避 雷 設 備

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
1. 受雷部	取付け状態及び避雷導線との接続状態を確認する。	1Y	
2. 避雷導線等	避雷導線等の損傷、断線及び接続不良の有無を点検する。	1Y	
3. 支持管	① 支持金物の腐食、緩みの有無を点検する。 ② 支持ボルト周囲のシーリング材の剥離、欠落等の有無を点検する。	1Y	
4. 端子箱	① 端子台の緩み等を点検する。	1Y	
	② 箱の腐食の有無を点検する。	1Y	
5. 接地極	① 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	② 接地極位置等の表示の有無を確認する。	1Y	